

OSSTech PassSync

インストールガイド



オープンソース・ソリューション・テクノロジー(株)

作成者: 濱野 司
作成日: 2011 年 12 月 1 日
リビジョン: 1.0

目次

1. はじめに	2
1.1 本書の目的.....	2
1.2 前提条件.....	2
2. システム要件	3
2.1 ソフトウェア要件.....	3
2.2 ハードウェア要件.....	3
2.3 対応 LDAP サーバー.....	3
2.4 パッケージ構成.....	3
3. インストールと基本設定	4
3.1 OSSTech PassSync のインストール.....	4
3.2 証明書のインポート.....	4
3.3 PassSync サービスの起動.....	4
3.4 動作確認.....	4
4. 改版履歴	5

1. はじめに

1.1 本書の目的

本文書は、弊社提供の PassSync パッケージのインストールと初期設定を実施するための手順書です。PassSync のインストールやアップデートの際には、必ず本文書の内容を確認してから作業を実施してください。

本文書に関する記載内容について疑問点等がある場合には、弊社サポート窓口までお問い合わせください。

1.2 前提条件

本書は、特に指示がない限り、以下のような条件を前提に記述しています。これと異なる場合は、適宜内容を読み替えるか、必要な作業を別途実施してください。

- 作業者が OS と関連ソフトウェアの管理や操作手順についての一般的な知識を有すること。
- OS と関連ソフトウェアの基本設定が適切になされていること。

2. システム要件

2.1 ソフトウェア要件

- Windows Server 2003(x86, X64)
- Windows Server 2008 R2(X64)

2.2 ハードウェア要件

メモリ: 1GB 以上

2.3 対応 LDAP サーバー

- OpenLDAP 2.4(LDAP over SSL)

2.4 パッケージ構成

OSSTech PassSync パッケージファイルは以下の通りです。

- 32bit 版
 - OSSTech-PassSync-1.1.4-x-i386.msi
- 64bit 版
 - OSSTech-PassSync-1.1.4-x-x86_64.msi

3. インストールと基本設定

3.1 OSSTech PassSync のインストール

msi ファイルを実行してインストーラーを起動します。設定画面では下記内容を入力します。

Host Name:	OpenLDAP サーバーのホスト名を入力します。
Port Number	636 (OSSTech PassSync は LDAP over SSL が必須です)
User Name	OpenLDAP サーバーに接続を行う Root DN、もしくはユーザーのパスワード変更の権限を持った DN を入力します。
Password	上記ユーザーのパスワードを入力します。
Cert Token	証明書ストアのパスワードを入力します。
Search Base	同期する LDAP サーバーの Search Base を入力します。

PassSync モジュールを有効にするためには、OS の再起動が必要です。msi パッケージのインストール後、OS の再起動を行ってください。

3.2 証明書のインポート

OSSTech PassSync は OpenLDAP へ LDAP over SSL 接続を行います。

この際、検証で利用する CA 証明書をインポートします。OpenLDAP のサーバー証明書に署名した CA 証明書 ca.pem を用意し、下記コマンドを実行します。

CA 証明書のインポート

```
> cd C:\Program Files\OSSTech Directory Password Synchronization
> certutil.exe -d . -N
> # 証明書ストアのパスワード入力
> certutil.exe -d . -A -t CT,, -n "LDAP CA" -a -i ca.pem
```

3.3 PassSync サービスの起動

「管理ツール」->「サービス」より、「Password Synchronization」を選択し、「開始」を実行します。

3.4 動作確認

ユーザーのパスワードを変更し、OpenLDAP に同期が行われるか確認を行ってください。

4. 改版履歴

- 1.0 2011 年 12 月 1 日 濱野 司
 - 初版作成